

「発達保育Ⅱ」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校
教諭 小林 紀子

1. 日時 平成25年10月25日(金) 3限目
2. 場所 第2被服教室
3. 3年家庭保育系列 (8名)
4. 生徒観 授業態度は真面目で、ノート等もきちんと取り、実習に取り組む姿勢も良好である。
系列に対してしっかりとした目的意識を持っている生徒の集団である。全員が保育系専門学校や短期大学に進学予定である。ただ、やや控えめな生徒も多く、実技の実習においてはもう少し積極性が望まれる。
5. 単元 乳幼児の生活と養護
6. 単元目標 乳幼児の生活の特徴を学び、発達段階に応じた養護が必要なことを理解する。
7. 本時の目標 乳幼児の沐浴の方法を知る。
8. 本時の創意工夫
 - ①本時の学習内容をあらかじめ板書する。(2限連続授業のため)
 - ②図の提示と保育人形等による示範を行う。
 - ③2人または3人グループによる実技練習の時間を設定する。
 - ④既習の保育技術検定(家庭看護技術)の内容と関連づける。
 - ⑤服装を整えさせる。講義と実習の時間のけじめをつけさせる。

9. 本時の展開

	学習内容	学習活動(生徒の活動)	指導の留意点*支援(教師の活動)	学習形態	創意工夫
導 入	・本日の学習内容	・本日の学習内容を確認する。	・本日の学習の流れを板書する。	一斉	①
展 開	・前時の復習	・「沐浴」の必要性と準備物を確認する。	・ワークシートの記入内容の確認	一斉	②
	では、乳児の「沐浴」で注意しなければならない点は何でしょう。				
	・「沐浴」のポイント	・乳児の「沐浴」において何に注意しなければならないか、考える。	・沐浴の注意点を黒板に提示。 ・ワークシートにまとめさせる。	一斉 個人	②
	正しい「沐浴」のさせ方を確認しましょう。				
ま と め	・正しい「沐浴」のさせ方の確認	・正しい「沐浴」のさせ方の確認 ・沐浴の際の「ことばかけ」の内容を考える	・実技示範 ・「ことばかけ」の内容をワークシートに記入させる。 (机間巡視)	一斉 個人	②
	「沐浴」のさせ方を練習しましょう。				
		・グループで「ことばかけ」しながら練習する。	・正確な手順とともに「ことばかけ」を忘れないように伝える。	2人又は 3人	③ ④
ま と め	本時の振り返りと次時の内容の確認	・本時の実技を振り返り評価シートに記入する。	・評価シートの記入の仕方の指示と次時の内容を伝える。	個人	